

# 進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2012. 5. 17

3, 4年生用 No.12



## 就職希望者昨年より大幅に増加傾向！

本校の今年の卒業予定者の就職希望が昨年より 10 名位増えたと以前にお知らせしましたが、上伊那地区の他校の様子を聞くと他校も同様に増加傾向にあることが分かりました。駒工+10、上農+30、本校+10、辰野+10 とこの 4 校だけで 60 人の増加となりそうです。

上伊那地区は**今年も昨年にも増して各企業が厳しい状況**にあり、これだけ就職希望者が増えると少ないパイの奪い合いとなり**就職戦線は相当に厳しくなりそう**です。皆さんの多くはまだ他人事とこの現実をきちんと受け止めていないと思いますが、かなり深刻さが予想されます。

就職希望者全員が卒業までに進路が決まれば問題ありませんが、3月末に進路が決まらない生徒が少なからず出そうです。最後まで残る一人に入らない為にも、基礎学力をきちんと付けると同時に、コミュニケーション力を付けていって欲しいものです。他の人との競争に勝てるものを持っている者には何の心配もありませんが、**それが無い者に最後のしわ寄せが行きます**。

本年度卒業者の進路希望状況

	卒業予定者数	進学希望者数	就職希望者数
男	97	32	65
女	25	7	18
計	122	39	83



## ある企業の方のお話より

今日本の企業は極めて厳しい状況になってきている。こんな時だからこそ将来会社をリードしていってくれる人材が欲しい。手をかけなくてもすぐに成長出来る人を採用したい。

急に、  
もう要らない、  
もう来なくていい、  
と言われると、  
「もう一回だけチャンスをちょうだい」とせがみたくなるのが人間。  
でも、ふと思う。  
チャンスは、  
何度も何度も与えられていたんじゃないだろうか。  
それとも、  
最後まで分かっていないと、  
チャンスを活かせないのか。  
もつとがんばれるんなら、  
なぜ最初からがんばっていないのか。  
そんなことを考えて初めて、  
チャンスがあるうちに  
がんばっていないかった自分に  
気づかされたいもする。  
もしかしたら、  
これが最後になるかもしれない、  
そういう気持ちで、  
人やモノと向き合うことって大切だ。  
実際、そういう意識を忘れるから、  
チャンスを逃していることが  
多いかもしれない。